

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 24 日作成)

委員会名	杭基礎耐震小委員会	主 査 名：杉村義広
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：時松孝次
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>PHC 杭のせん断破壊が注目された宮城県沖地震(1978)以後、杭の耐震性を考慮した設計の必要性が指摘されてきたが、兵庫県南部地震(1995)でさらに多くの杭基礎の被害事例が発生したことによって、その必要性が増幅されている。本小委員会は1997年4月から2000年3月まで設置された同名小委員会での成果であるシンポジウム資料「杭基礎の耐震性に関する諸問題」に基づいて、さらに発展的に活動を続け、杭基礎の耐震設計に関しての学会出版物にまで昇華させることを目的としている。</p> <p>2001 年度：震害経験に基づく杭頭接合部の考え方についての検討 2002 年度：地盤と杭の非線形を考慮した地震応答解析と地震被害との関係についての検討 2003 年度：杭基礎の耐震設計に関する資料の準備 2004 年度：上記の資料な最終まとめと第1次原稿作成</p>	
委員構成 (委員名(所属))	青島一樹(大成建設技術センター) カルキーマダン(秋田県立大学) 小林勝己(フジタ技術センター) 近藤豊史(山下設計) 杉村義広(東北大学、主査) 関崇夫(大林組技研) 高橋郁夫(清水建設技研、幹事) 田村昌仁(建研) 土屋富男(竹中工務店技研、幹事) 中島隆裕(久米設計) 藤原薫(鈴木建築設計) 松尾雅夫(安井建築設計) 三町直志(日本設計) 宮田章(鹿島建設技研) 矢島淳二(東急建設エンジニアリング部)	
設置 WG (WG 名: 目的)		
2003 年度予算	372000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第1回 2003.5.29(木) 14名 第2回 2003.7.28(月) 13名 第3回 2003.10.1(水) 7名 第4回 2003.11.27(木) 9名 第5回 2004.1.29(木) 12名 第6回 2004.3.18(木) 14名 杭基礎の地震被害事例や耐震設計に関する資料について審議・検討するとともに、「建築杭基礎の耐震設計の考え方(仮題)」の目次と第1次原稿の作成を行った。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 建築雑誌の「いま伝えたいトピックス」に『建築杭基礎の耐震設計の考え方(仮題)』の原稿を提出した(5月号掲載の予定)。
	委員会 HP アドレス:
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) ほぼ当初の予定に沿って作業は行われており、2004年度は前半で小委員会内での査読を通じて最終原稿を作成し、後半に基礎構造運営委員会および構造本委員会の査読を受ける予定である。
その他評価すべき事項	出版は2005年度にずれこむことが予想されるが、2005年度中に講習会を計画している。